

1面のつづき

地産地消と
地域資源を活かした
産業の取り組み

あきる野農業は、ファーマーズセンターを拠点に、地産地消型の農業を推進してまいりましたが、農業従事者の高齢化や担い手不足などから、数多くの遊休農地が存在しています。この遊休農地の活用に向けて、現地調査から耕作・貸付までの一連の取り組みを行い、さらなる地産地消型農



五日市ファーマーズセンター

業の拡大を推進してまいります。

観光施策については、あきる野市の優れた地域資源の活用を図り、地域経済力を高めるため、新たに戦略的な観光推進計画を策定し

地域福祉と
子育て支援の推進

保健・福祉に関する総合的な指針であります地域保健福祉計画を新たに策定いたします。この計画に基づき、子育て、高齢、介護、障がい、健康づくりなどの分野の施策に取り組みてまいります。

子育て支援については、モデル的に秋留台学童クラブの開設時間を午後7時まで延長するなど、先駆的に取り組んでまいります。



ふるさと農園隊によるしいたけ作り

育園の民設民営化については、平成23年度からスタートできるよう保護者とも連携しながら、万全の体制で取り組みます。

昨年からの施設整備に取り組みている2つの民間保育園は、平成22年度に工事が完了し、定員が60人増えま

高年齢者が進行する中、適正な介護サービスが提供される制度運営を行うとともに、介護予防教室や地域イキイキ元気づくり事業を推進し、元氣な高齢者を増やしてまいります。

また、民生・児童委員やふれあい福祉委員など、地域のボランティアの皆さんと連携し、1人暮らしの高齢者や高齢者だけの世帯の見守りを行い、安心して暮らせる地域づくりを進めてまいります。さらに、市営住宅の建替計画の中に、高齢者にも配慮した内容を盛り込むなど

てまいります。また、広域的な連携による新たな観光の創出を図るため、秋川流域3市町村の広域観光まちづくり事業を拡充してまいります。

五日市の優れた歴史文化を発信する東京のふるさと五日市物語については、市制15周年記念事業として、映画制作を行うとともに、民話などを地域の方々と協働しながら編さん事業を行ってまいります。

「環境都市あきる野」を目指して 行財政改革の第2章へ

都市基盤と
交通機能の充実

関越道及び中央道と圏央道との連結により、多摩西部地域の利便性は飛躍的に向上しました。東京都が策定した10年後の東京でも、広域的な道路ネットワークの強化と都市基盤の整備が示されており、これらの動きに対応するため、都



東秋留駅

市計画マスタープランを見直します。

JR五日市線のバリアフリー化については、事業者であるJRと協議を重ねてまいりましたが、主に障がい者の利便性の向上を図るため、武蔵引田駅にはスロープを、東秋留駅にはエレベータをそれぞれ設置いたします。

健康づくりと
スポーツ・文化の
推進

市民の健康づくりについては、めざせ健康あきる野21計画に基づき、健診事業や食育教育を進めるとともに、町内会・自治会などさまざまなグループで進める健康づくり活動を支援してまいります。特に、ウオーキングによる健康づくりは、市民の間に浸透してまいりました。郷土の恵みの森構想では、健康の森も位置付けられており、昔道や



東京国体準備委員会設立総会

尾根道などの整備にあわせ、森林浴やウォーキングなど健康増進施策に活用してまいります。

平成25年には東京国体の開催が予定されており、あきる野市は、自転車競技と少年女子ソフトボール競技の開催地として内定しており、先般、準備委員

主要幹線道路秋3・5・2号線については、事業認可区間の完了に向けて取り組むとともに、武蔵増戸駅南口や市道深沢線の道路整備についても、計画的に事業を進めてまいります。

いります。その中で、家庭、学校、地域社会がそれぞれの役割と責任を自覚し、緊密な連携のもとに、子どもたちが心身ともに健康で、豊かな人間性、創造性及び未来をひらく学力を兼ね備えた市民として成長し、あきる野市の発展に貢献することを期待するものであります。

子どもたちの
夢を育む教育

人権尊重と社会貢献の精神を基調とし、すべての市民が豊かな自然や伝統・文化に誇りを持ち、生涯を通じて学ぶことのできる生涯学習社会の実現を図ってま



あいさつ標語カルタ大会

会を設立いたしました。今後、実行委員会へと移行し、新たな組織体制により準備を進めてまいります。

誇れる文化として、多くの郷土芸能の中に、秋川歌舞伎や菅生歌舞伎の地芝居が地域の方々により伝承されております。貴重な地域の宝を全国に発信するため、全国各地芝居サミットの開催に向けて調査を進めてまいります。

不断の
努力で進める
行財政改革

あきる野市の最重要課題は、財政の健全化にあります。実現には、「入りを計りて出るを制する」以外にありません。

一昨年12月に設置され、市への想いを徹底的に議論した、行政改革推進市民会議の提言が提出されました。この提言をもとに、平成24年度を目標年度として、第2次行政改革推進プランを策定いたします。目標数値も掲げておりますので、この実現に向けて、一路邁進し、財政の安定化を図ってまいります。

市民と行政が互いに果たす役割を確認しあい、ともにまちづくりを担うことが協働の本来の姿と強く思うのであります。

教育目標を「人が育ち人が輝く あきる野の教育」と定め、「おとなが手本のある野市」を推進するため、特別支援教育の推進、いじめ不登校ゼロへの挑戦、学力向上対策強化、環境教育の推進、小中一貫校への取り組み、小規模学校対策の推進などに取り組んでまいります。